



2018年10月12日

各位

会社名 株式会社 島忠
代表者名 代表取締役社長 岡野恭明
(コード番号 8184 東証第1部)
問合せ先 取締役経営企画本部長 折本和也
(TEL 048-623-7711)

通期業績予想と実績値との差異並びに特別損失の計上に関するお知らせ

2017年10月13日に公表いたしました2018年8月期の業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、下記のとおり、特別損失を計上いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 2018年8月期通期業績予想と実績値との差異（2017年9月1日～2018年8月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 147,338	百万円 10,319	百万円 10,852	百万円 7,522	円 銭 158.75
実績値 (B)	146,272	9,888	10,541	4,301	94.11
増減額 (B-A)	△1,065	△430	△310	△3,220	—
増減率 (%)	△0.7	△4.2	△2.9	△42.8	—
(参考) 前期実績 (2017年8月期)	146,858	9,855	10,766	6,277	132.49

2. 差異の理由及び特別損失の内容

2018年8月期の業績は、集客力強化として来店頻度の高い食品スーパーのテナント誘致や百円均一ショップの展開、Tポイント導入などの取組みを行った結果、既存店売上高は99.3%となり営業利益及び経常利益ともに計画には届かなかったものの、一定の成果を挙げることができました。しかしながら、今後も集客力強化策を実行するうえで障害になるであろう過去の失敗の清算を行わずに、将来の利益成長はないものと考え、第4四半期において構造的に収益性の低い店舗の過大投資分として減損損失2,018百万円、滞留在庫処分費用や店舗設備の修繕費用等として事業構造改革関連費用1,606百万円をそれぞれ特別損失に計上いたしました。これらにより当期純利益は当初の予想を下回ることとなりました。

以上